

令和6年度第2回 東京都在宅介護・医療協働推進部会主なご意見まとめ

- 令和7年2月5日（水曜日）開催

- 議 題

- （1）令和6年度訪問看護の人材確保・定着等に関する調査について
- （2）令和6年度訪問看護推進総合事業の取組状況及び令和7年度予算案について
- （3）令和7年度在宅療養推進に向けた都の取組（案）

（1）令和6年度訪問看護の人材確保・定着等に関する調査について

- 次年度第1回部会で報告予定。回収率は1月28日時点で大体23%ほど。個別電話中。
- 訪問看護ステーション協会もメールによる周知を検討する。

（2）令和6年度訪問看護推進総合事業の取組状況及び令和7年度予算案について

<訪問看護人材確保事業について>

- ハイブリット形式も検討してはいかがか。

<訪問看護ステーション等管理者・指導者育成事業>

- 大人の人の教育について、成人学習理論を取り込んでみては。
- 介護現場におけるカスタマーハラスメント対策強化事業についても案内してみては

<訪問系介護サービス暑さ対策緊急支援事業>

- マッチングによる移動距離の最適化という視点も必要

<いきいき・あんしん在宅療養サポート訪問看護人材育成支援事業>

- 費用対効果を鑑み、シミュレーターをいじらなくても遠隔で聴講できるような仕組みなども含めて検討いただきたい

（4）令和7年度在宅療養推進に向けた都の取組（案）

<区市町村在宅療養推進事業>

- 区市町村の裁量による幅が広いため、モデル的事案の例示や開始時は内容絞る等した方が使いやすいのでは
- 家族支援についても力を入れる必要がある

居宅サービス事業者及び介護予防サービス事業者の
指定について（6月分）

令和7年6月分の介護保険サービス提供事業者の指定を下記のとおり行いましたので
お知らせいたします。
今回指定した居宅（予防）サービス事業者一覧は別添のとおりです。

事業所の指定状況

	5月1日現在事業所数		6月1日指定		前月からの差分		6月1日現在事業所数	
	居宅	予防	居宅	予防	居宅	予防	居宅	予防
訪問介護	3,210		11		10		3,211	
訪問入浴	150	148			2	2	148	146
訪問看護ステーション	1,765	1,718	10	8	5	5	1,770	1,721
訪問リハビリテーション	82	78	0	0	2	2	80	76
通所介護	1,511		7		3		1,515	
通所リハビリテーション	48	47	0	0	0	0	48	47
短期入所生活介護	630	599			0	0	630	599
短期入所療養介護	3	3			0	0	3	3
特定施設入居者生活介護	906	807	0	0	0	-1	906	808
福祉用具貸与	635	628	4	4	8	8	631	624
特定福祉用具販売	629	628	4	4	8	8	625	624
合計	9,569	4,656	36	16	38	24	9,567	4,648

※みなし指定の事業所数は除いてあります。
※平成27年4月1日より八王子市が中核市に移行したため、八王子市所在の事業所を除外して計上しています。

参考資料3

都内訪問看護ステーション・看護小規模多機能型・小規模多機能型 事業所数

令和7年6月1日現在

	区市町村	訪問看護 ステーション	看護小規模 多機能	小規模 多機能
1	千代田区	11	0	1
2	中央区	29	0	3
3	港区	42	1	5
4	新宿区	53	2	8
5	文京区	33	1	5
6	台東区	32	0	1
7	墨田区	41	2	7
8	江東区	48	0	4
9	品川区	42	2	10
10	目黒区	43	2	6
11	大田区	92	1	8
12	世田谷区	117	10	14
13	渋谷区	33	1	1
14	中野区	33	1	6
15	杉並区	76	3	9
16	豊島区	47	1	4
17	北区	40	1	3
18	荒川区	26	0	9
19	板橋区	82	2	11
20	練馬区	112	10	14
21	足立区	109	5	13
22	葛飾区	64	1	5
23	江戸川区	80	2	14
区部 計		1,285	48	161

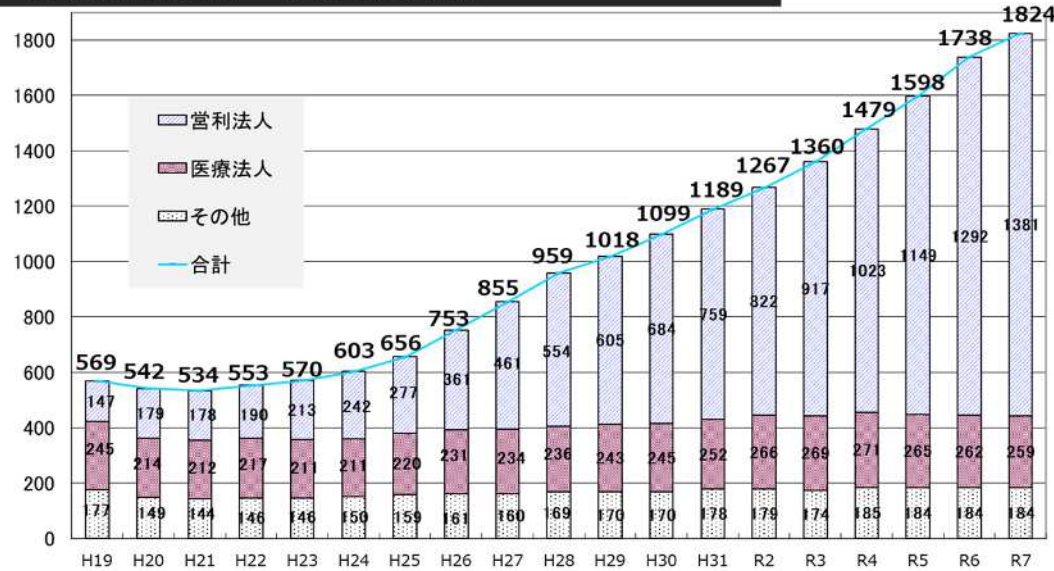
	区市町村	訪問看護 ステーション	看護小規模 多機能	小規模 多機能
24	八王子市	60	4	20
25	立川市	21	2	4
26	武蔵野市	28	1	0
27	三鷹市	21	1	3
28	青梅市	19	2	2
29	府中市	39	1	5
30	昭島市	19	0	1
31	調布市	31	2	1
32	町田市	74	3	5
33	小金井市	11	1	2
34	小平市	26	1	6
35	日野市	20	1	5
36	東村山市	20	3	3
37	国分寺市	17	0	5
38	国立市	11	1	1
39	福生市	6	0	0
40	狛江市	8	0	0
41	東大和市	5	1	1
42	清瀬市	13	1	0
43	東久留米市	10	1	3
44	武蔵村山市	8	0	1
45	多摩市	24	4	4
46	稲城市	7	3	2
47	羽村市	8	0	1
48	あきる野市	10	0	2
49	西東京市	25	1	3
市部 計		541	34	80

	区市町村	訪問看護 ステーション	看護小規模 多機能	小規模 多機能
50	瑞穂町	4	0	0
51	日の出町	2	0	2
52	檜原村	0	0	0
53	奥多摩村	0	0	0
54	大島町	0	0	0
55	利島村	0	0	0
56	新島村	1	0	0
57	神津島村	0	0	0
58	三宅村	1	0	0
59	御蔵島村	0	0	0
60	八丈町	1	0	0
61	青ヶ島村	0	0	0
62	小笠原村	0	0	0
町村部 計		9	0	2

都内 計	1,835	82	243
------	-------	----	-----

看多機未配置	5区	7市	13町村
--------	----	----	------

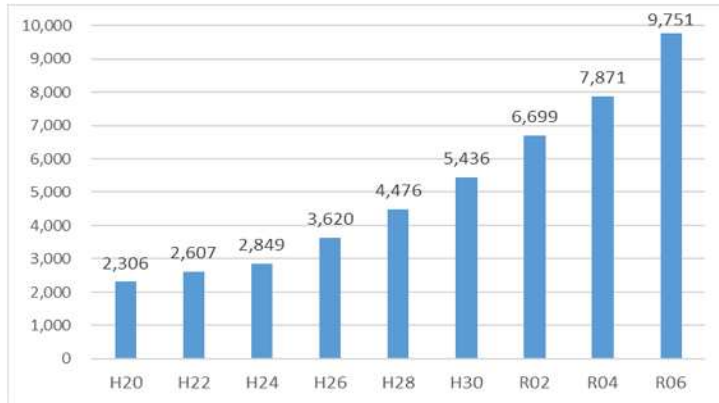
■ 訪問看護ステーション数の推移



(注) 各年4月1日現在の訪問看護ステーション数 ※八王子市含む

資料: 東京都福祉局高齢者施策推進部作成

■ 訪問看護ステーション従事看護職員数の推移(常勤換算)



東京都保健医療局医療政策部調べ(隔年)

■ 訪問看護(予防含む)サービス量の見込

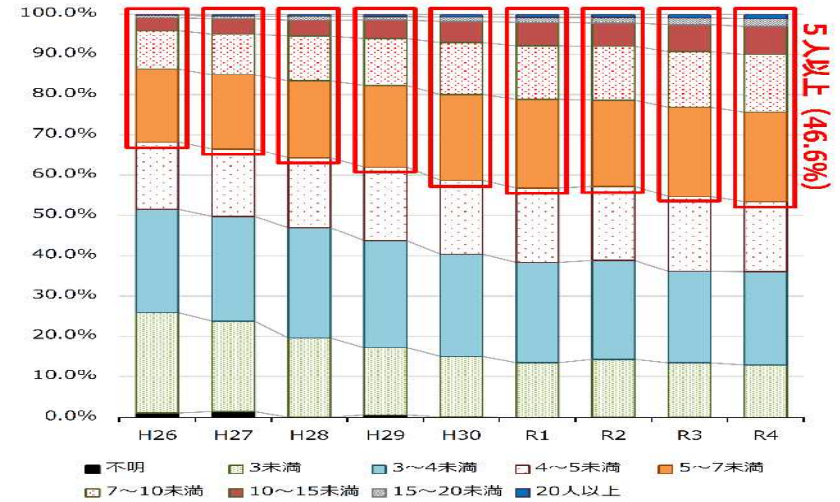
(万回/年)

R3年度実績	R4年度実績	R6年度見込み	R7年度見込み	R8年度見込み	R12年度見込み
1,117	1,174	1,336	1,382	1,426	1,523

出典: 第9期東京都高齢者保健福祉計画

○ 令和12年度には、令和3年度実績の約1.4倍のサービス量の増加が見込まれる

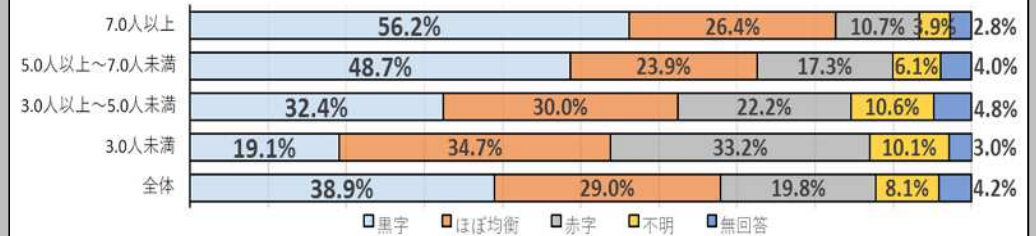
■ 看護職員数別(常勤換算)事業所割合



出典: 中央社会保険医療協議会第549回総会資料(令和5年7月12日)

○看護職員数の多いステーションの数は増加傾向にある。

■ 看護職員数(常勤換算)別収支状況

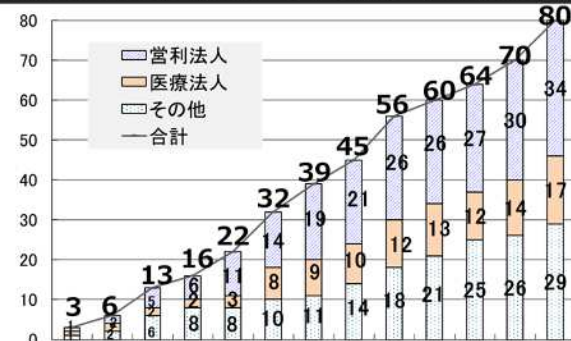


出典: 平成30年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金

「訪問看護事業所における看護師等の従業者数の規模別にみたサービスの実態に関する調査研究事業」

○規模が大きくなるほど収支は安定する傾向

■ 看護小規模多機能型居宅介護事業所数の推移



(注) 各年4月1日現在の看護小規模多機能型居宅介護事業所数

5区7市
13町村に
おいて未配置

地域における教育ステーション事業の実施状況について

参考資料5

■ 教育ステーション事業実施状況（H25～R6）

			H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算規模（ST数）			5箇所	5箇所	9箇所	9箇所	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	18箇所
ステーション体験	人数	他ST勤務者	39人	78人	92人	94人	85人	95人	88人	30人	36人	40人	61人	52人
		医療機関等	17人	83人	139人	211人	307人	281人	217人	29人	51人	85人	114人	156人
		離職者	16人	24人	27人	24人	47人	40人	33人	16人	27人	26人	22人	17人
		計	72人	185人	258人	329人	439人	416人	338人	75人	114人	151人	197人	225人
	日数	他ST勤務者	112日	220日	240.5日	227.5日	230日	251日	256日	113.5日	117.5日	126.5日	199日	184日
		医療機関等	33日	174日	188日	298日	401.5日	425日	297.5日	48日	83日	123日	187日	249.5日
		離職者	32日	66日	83.5日	75.5日	131.5日	94日	87日	34日	64日	63.5日	59日	38日
		計	177日	460日	512日	601日	763日	770日	640.5日	195.5日	264.5日	313日	445日	471.5日
勉強会	回数		17回	28回	61回	104回	118回	120回	104回	60回	99回	95回	90回	90回
	参加人数		477人	934人	2,068人	3,227人	3,590人	3,598人	3,298人	1,197人	3,155人	2,534人	2,583人	2,779人
医療機関での訪問看護師研修（H27～）	医療機関数		—	—	17箇所	21箇所	30箇所	27箇所	27箇所	1箇所	3箇所	4箇所	9箇所	15箇所
	参加人数		—	—	98人	129人	146人	163人	142人	2人	18人	8人	41人	66人

■ R6主な勉強会テーマと参加職種（抜粋）

テーマ	参加職種
フィジカルアセスメント研修会	訪問看護師、介護関係者
がんになっても自分らしく暮らせる地域づくり～生活に役立つ制度のあれこれ～	訪問看護師、介護関係者、地域住民、その他
気持ちよく出すことを叶える排便ケア勉強会	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、地域住民、その他
高齢者虐待防止研修	訪問看護師、介護関係者、その他
難病患者の看護	訪問看護師、医療関係者、その他
褥瘡のキホン①②	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、その他
いのちを考える市民講座	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、地域住民
緩和ケア研修	訪問看護師、介護関係者、その他
患者はどこへ行った ～在宅移行の現状～	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、その他
訪問看護師と病院看護師の交流会	訪問看護師、医療関係者
口腔ケアの基礎知識	訪問看護師、介護関係者、その他
災害時の在宅療養者の支援について考える～最初の一步として、地域の在宅医療職と行政の交流から～	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、その他
精神科訪問看護 GAFについて	訪問看護師、医療関係者
事例検討会	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、その他
STOP！脳卒中～在宅でできる再発予防～	訪問看護師、介護関係者、医療関係者
生活者の「歩く」を支えるフットケア	訪問看護師、医療関係者
感染管理の基本	訪問看護師、介護関係者
フットケア勉強会	訪問看護師、介護関係者、地域住民、その他

■ R6相談業務 計258件

所要時間	相談者職種		相談者属性		相談者所在地		相談方法		相談内容		対応		
10分	66	管理者	143	訪問看護ST	170	都内（23区内）	188	来所	65	就業相談	34	助言・情報提供	237
20分	36	訪問看護師	21	病院	37	都内（市町村）	62	電話	97	報酬・加算関係	54	ナースプラザを紹介	2
30分	72	病院等看護師	32	診療所	5	東京都外	8	E-mail	60	人材関係	39	他機関を紹介	0
40分	12	その他看護師	41	福祉施設等	24	不明（無記入）	0	ファックス	0	運営関係	106	その他	18
50分	10	ステーション経営者	21	新規開設予定	7	合計	258件	その他	35	連携関係	84	不明（無記入）	1
1時間以上	40	他ST利用者	0	離職中	12			不明（無記入）	1	その他	83	合計	258件
1時間半以上	9	不明（無記入）	0	他ST利用者	0			合計	258件	合計（複数回答）	400件		
2時間以上	13	合計	258件	不明（無記入）	3								
合計	258件			合計	258件								

■ R6医療機関研修実施内容（計 15医療機関、訪問看護師 66人実施）

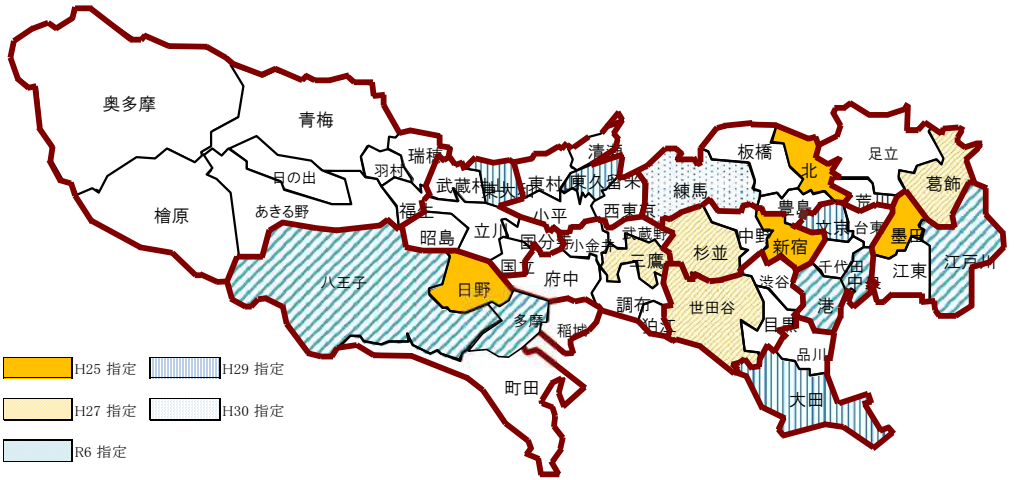
研修先医療機関	参加人数	実施概要
東京リハビリテーション病院	1人	病棟見学（退院指導の実際）、退院時カンファレンス、退院支援室
健康長寿医療センター	10人	外来ケアや処置の見学、入院患者のケアや処置、装置の選定や地域連携の様子を見学、地域連携
北療育医療センター	11人	重症心身障害児・者の通園、通所の見学、医療的ケアや支援を提供するための知識・技術の習得、地域連携
東京慈恵会医科大学附属医療センター	2人	腹膜透析、皮膚排泄ケア、慢性心不全看護、認知症看護
東部地域病院	2人	退院調整の見学、摂食・嚥下チームラウンド、ストーマ外来、NCTラウンドの見学
杏林大学医学部付属病院	4人	NICU、GCU
野村病院	4人	緩和ケア
都立駒込病院	5人	看護技術トレーニング研修（静脈注射、導尿、膀胱留置カテーテル）、ストーマ外来見学、褥瘡予防対策や処置の見学
都立東大和療育センター	2人	重度心身障害者への看護技術、地域連携
滝山病院	6人	透析看護の実際
東京病院	10人	緩和ケア
心身障害児総合医療療育センター	3人	医ケア児への支援の実際、他職種の関わり、親への支援、レスパイトの実際等
陽和病院	3人	措置入院や医療保護入院の方への看護ケア、入院中の生活、服薬管理等の現状等の見学等
東京臨海病院	2人	病院看護師と地域の訪問看護師の交流により、切れ目のないケアが提供できるよう、それぞれの領域での学びを深め、病院と地域での医療に役立てる。
聖ヶ丘病院	1人	ホスピス病棟を1日体験する。

令和6年度地域における教育ステーション事業の実施状況

■ 教育ステーション配置状況等

教育ステーション一覧（都内 18ステーション）

教育ステーション	所在地	教育ステーション	所在地	教育ステーション	所在地
東京ひかりナースステーション	中央区	訪問看護ステーションけやき	世田谷区	訪問看護ステーションとんぼ	八王子市
LCC訪問看護ステーション	港区	河北訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷	杉並区	野村訪問看護ステーション	三鷹市
白十字訪問看護ステーション	新宿区	あすか山訪問看護ステーション	北区	ラピオンナースステーション	日野市
訪問看護ステーションけせら	文京区	東京都看護協会立城北看護ステーション	練馬区	訪問看護ステーション・青い空	東大和市
訪問看護ステーションみけ	墨田区	訪問看護ステーションはーと	葛飾区	東久留米白十字訪問看護ステーション	東久留米市
田園調布医師会立訪問看護ステーション	大田区	船堀ホームナースにじ	江戸川区	あい訪問看護ステーション	多摩市



■ 訪問看護ステーション体験・研修

訪問看護師及び訪問看護に関心のある看護職を対象に、1日から5日程度のコースで、同行訪問や手技演習等の研修を実施
＜実績＞

合計 225人 / 延べ471.5日

S T名	白十字訪問看護ステーション	訪問看護ステーションみけ	あすか山訪問看護ステーション	ラピオン訪問看護ステーション	訪問看護ステーションけやき	河北訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷
計（人・延べ日数）	8人 17日	32人 88日	34人 46日	7人 9日	8人 19日	11人 25.5日

S T名	訪問看護ステーションはーと	野村訪問看護ステーション	訪問看護ステーションけせら	田園調布医師会立訪問看護ステーション	訪問看護ステーション・青い空	東久留米白十字訪問看護ステーション
計（人・延べ日数）	18人 61日	9人 22日	19人 29日	5人 11日	8人 16日	6人 20日

S T名	東京都看護協会立城北看護ステーション	東京ひかりナースステーション	LCC訪問看護ステーション	船堀ホームナースにじ	訪問看護ステーションとんぼ	あい訪問看護ステーション
計（人・延べ日数）	26人 57日	6人 7日	15人 15.5日	9人 16.5日	2人 8日	2人 4日

■ 相談業務

地域の訪問看護ステーション管理者や、訪問看護師等からの相談に対する助言や情報提供を実施
＜実績＞
合計 258件（18教育ステーションの合計）

＜主な相談内容＞

訪問看護ステーションの運営や人材関係・地域との連携 など

■ 勉強会

各地域において、医療機関等との合同カンファレンスや訪問看護師、地域の看護職、多職種を対象とした勉強会を実施

＜実績＞

合計 90回 / 2,779人参加

ST	実施回数	主な勉強会テーマと参加職種（抜粋）	
		テーマ	参加職種
白十字	10	フィジカルアセスメント研修会	訪問看護師、介護関係者
みけ	4	かんになっても自分らしく 暮らせる地域づくり～生活に役立つ制度のあれこれ～	訪問看護師、介護関係者、地域住民、その他
あすか山	8	気持ちよく出すことを叶える排便ケア勉強会	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、地域住民、その他
ラピオン	2	高齢者虐待防止研修	訪問看護師、介護関係者、その他
けやき	6	難病患者の看護	訪問看護師、介護関係者、その他
河北	3	褥瘡のキホン①②	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、その他
はーと	6	いのちを考える市民講座	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、地域住民
野村	13	緩和ケア研修	訪問看護師、介護関係者、その他
けせら	3	患者はどこへ行った ～在宅移行の現状～	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、その他
田園調布	3	訪問看護師と病院看護師の交流会	訪問看護師、医療関係者
青い空	10	口腔ケアの基礎知識	訪問看護師、介護関係者、その他
東久留米	5	災害時の在宅療養者の支援について考える ～最初の一步として、地域の在宅医療職と行政の交流から始める～	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、その他
城北	6	精神科訪問看護 GAFについて	訪問看護師、医療関係者
ひかり	1	事例検討会	訪問看護師、医療関係者、介護関係者、その他
LCC	2	STOP！脳卒中～在宅でできる再発予防～	訪問看護師、介護関係者、医療関係者
にじ	5	生活者の「歩く」を支えるフットケア	訪問看護師、医療関係者
とんぼ	1	感染管理の基本	訪問看護師、介護関係者
あい	1	フットケア勉強会	訪問看護師、介護関係者、地域住民、その他

※上記の他、市部の5 S T 合同で、「「見たい！聞きたい！やってみたい！訪問看護の世界訪問看護の世界」を実施（訪問看護師や看護学生などが参加）

■ 医療機関における訪問看護師研修

地域の医療機関と協同し、医療機関において訪問看護師が必要な技術等の習得のための研修の機会を提供

＜実績（合計）＞

研修受入機関数	参加人数
15医療機関	66人

＜医療機関での研修内容（主なもの）＞

【見学・体験】

○重症心身障害児・者に医療的ケアや支援を提供するための、知識・技術の習得

○緩和ケア

○看護技術トレーニング研修（静脈注射、導尿、膀胱留置カテーテル）、ストーマ外来見学、褥瘡予防対策や

処置の見学

地域における在宅療養体制の確保

【区市町村等への支援】

■区市町村在宅療養推進事業【252,777千円】

＜補助率：10/10＞※4年目以降：1/2

地域における在宅療養体制の構築を図るため、区市町村が実施する以下の取組を支援

○在宅医療と介護の提供体制の充実にに向けた先駆的な取組への支援

＜例＞病院救急車等を活用した搬送体制の確保、看取りに関する講演会やDVDによる普及啓発 等

○切れ目のない在宅医療提供体制の構築や医療・介護関係者等への情報共有に対する支援

（在宅医療・介護連携推進事業のうち、地域支援事業交付金対象外経費への支援）

＜例＞・24時間の診療体制の確保、後方支援病床の確保＜在宅医療・介護連携推進事業（ウ）＞

・ICTを活用した情報共有・多職種連携＜在宅医療・介護連携推進事業（エ）＞ 等

○小児等在宅医療推進事業

○在宅療養患者家族支援事業＜新規＞

＜例＞家族が行っているケアを代行する看護師等の派遣、仕事とケアの両立に向けた取組 等

■在宅療養環境整備支援事業（保健医療政策区市町村包括補助（選択：提案型））＜補助率：1/2＞

在宅医療・介護連携推進事業（ア）～（ク）に関して、地域支援事業交付金対象経費であるが、交付金を活用せず事業を実施する区市町村への支援

在宅人工呼吸器使用者療養支援事業

（保健医療政策区市町村包括補助（選択：政策誘導型））＜補助率：1/2＞

自家発電装置等について、人口25,000人当たり各補助対象品目1台を給付基準とし、それらを整備するために必要な費用について補助

■災害時在宅医療提供体制強化事業＜新規＞【18,729千円】

訪問診療を行う医療機関における災害対応力を強化するとともに、地域BCP策定等在宅医療における災害対応体制の構築に取り組む区市町村を支援

【東京都医師会・地区医師会との連携】

■在宅療養研修事業【11,209千円】

○多職種連携連絡会の運営 ○在宅療養推進研修（「在宅療養地域リーダー」の養成）

○病院内での理解促進研修 ○病診連携研修（相互研修） ○シンポジウムの開催

■在宅医療推進強化事業【600,000千円】

○地域における24時間診療体制の構築の推進＜補助率：10/10＞

○オンラインを活用した病診連携の推進

デジタル技術を活用した情報共有の充実

■東京都多職種連携ポータルサイトの運営【19,058千円】

デジタル技術を活用した情報共有のための共通ポータルサイトを運営し、地域の医療・介護関係者や医療機関間の広域的な連携（情報共有）を促進し、都における在宅療養推進体制の強化を図る

東京都在宅療養推進会議等の開催

■東京都在宅療養推進会議等の開催

○調査検討部会の開催、東京都医療機能実態調査（在宅医療）の実施＜新規＞

○地区医師会・区市町村在宅療養担当者連絡会の開催 等

■広域連携支援 ・東京都地域医療構想調整会議、在宅療養ワーキンググループの開催

在宅療養生活への円滑な移行の促進

■入退院時連携強化事業【144,948千円】

医療機関における入退院支援に取り組む人材の育成や入退院時における地域との連携を一層強化

○入退院時連携強化研修

入退院時における入院医療機関と地域の医療・介護関係者との連携・情報共有の一層の強化に向け、実践的な研修を実施

＜対象＞病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、

区市町村在宅療養支援窓口、介護老人保健施設 等

○入退院時連携支援事業＜補助率：1/2または3/4＞

入退院支援に取り組む人材の配置に伴う人件費を補助し、医療機関における入退院支援体制の充実を図るとともに、病院と地域の医療・介護関係者との連携を支援

＜対象＞200床未満の病院

■在宅療養研修事業＜一部再掲＞

○病院内での理解促進研修 ○病診連携研修（相互研修）

医療・介護に関わる人材の確保・育成

■在宅療養研修事業＜一部再掲＞

○在宅療養推進研修（「在宅療養地域リーダー」の養成）

○病院内での理解促進研修 ○病診連携研修（相互研修） ○シンポジウムの開催

■在宅医療参入促進事業 【11,213千円】

訪問診療等を実施していない中小病院と診療所の医師及び看護師等に対し、在宅医療に関する理解の促進を図るためのセミナー等を開催し、在宅医療への参入を促進

小児等在宅医療に対する取組

■小児等在宅医療推進部会

■小児等在宅医療推進事業＜再掲＞

■小児等在宅医療推進研修事業【17,220千円】

小児医療に関する診療所の医師及び看護師等向けの研修を実施することで、小児等在宅医療を担う人材を確保・育成

看取り支援に関する取組

■ACP推進事業【16,884千円】

都民の希望する医療・ケアを受けることができるよう、ACPに関する以下の取組を実施

①都民に対する普及啓発 ②医療・介護関係者の実践力の向上

■都民の「生きる」を最後まで支える、医療・介護職のACP実践力の育成

＜新規・大学提案採択事業＞【30,000千円】

ACP実践に必要な情報を集約したWebサイトや、医療・介護職を対象とする協働学習の場を創り、医療・介護関係者のACP実践力の育成基盤を整備

在宅医療従事者の安全確保に関する取組

■在宅医療現場におけるハラスメント対策事業 【48,633千円】

在宅医療の現場で医療従事者が患者やその家族から受けるハラスメントの対策に取り組み、医療従事者が安心して在宅医療に従事できるよう支援

看護小規模多機能型居宅介護 管理者・区市町村担当者合同連絡会

日時

令和7年3月19日(水)PM13:30~16:30

○開催方法： オンライン（Microsoft Teams）

○対象者： ① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の管理者等
（東京都内の看多機及びその開設法人の職員に限ります。）
② 都内区市町村担当者



看護小規模多機能型居宅介護について理解を深め、運営のノウハウや好事例等の情報を共有するとともに、関係者同士のネットワーク構築を支援するため、連絡会を開催いたします

13:30~ 13:35	開会あいさつ	東京都 高齢者施策推進部
13:35~ 14:05 (30分)	東京都における看多機に係る令和7年度の補助事業等の説明	東京都 高齢者施策推進部
14:05~ 14:20 (15分)	看多機が抱える課題等について	医療法人社団 櫻会 看護小規模多機能 ゆいなの森 管理者：香取孝彦氏
14:20~ 16:00 (90分)	①看多機の管理者等 グループワーク ＊看多機が抱える課題に関するテーマに沿ってグループディスカッションをしていただきます。 (＊途中10分程度の休憩あり)	①各グループに分かれ、話し合いを進行
	②区市町村担当者 ＊申込の際にいただいたご質問等について、看多機管理者からお答えします。	②回答者 看護小規模多機能 ゆいなの森 管理者：香取孝彦氏
16:00~ 16:30	グループからの発表と講評	各グループから発表後、講評 東京都看護協会 横山孝子常務理事
16:30	閉会	東京都

＊看多機の管理者等のグループと、区市町村担当者のグループに分かれます。

○申込方法： 下記申請フォームまたはQRコードからお申込みください。

<https://logoform.jp/form/tmgform/930471>

○申込締切

令和7年3月12日(水)



令和 6 年度看多機連絡会についての事後アンケート

応答の概要 **アクティブ**

応答

36



平均時間

05:25



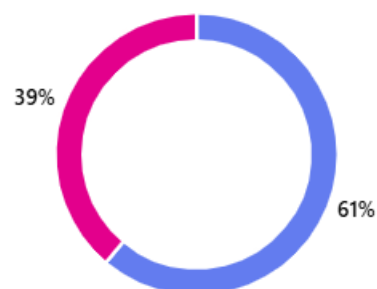
期間

72 日



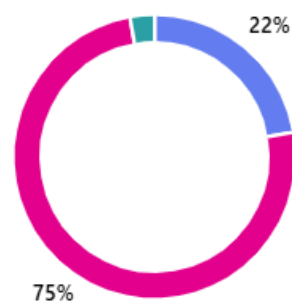
1. ご所属

● 看多機管理者等	22
● 区市町村担当者	14



2. 本連絡会の全体的な満足度を選択してください。

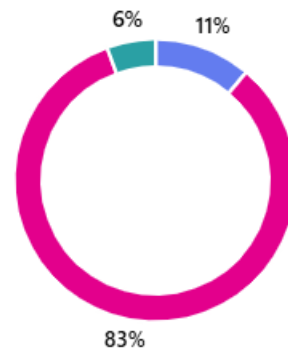
● 大変良かった	8
● 良かった	27
● あまり良くなかった	1
● 良くなかった	0



【東京都における看多機に係る令和7年度の補助事業等の説明】

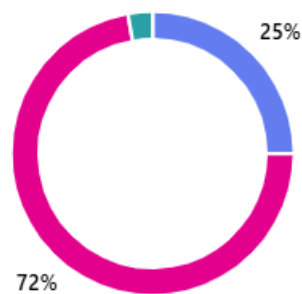
3. 分かりやすさ

● とても分かりやすい	4
● 分かりやすい	30
● やや分かりにくい	2
● 分かりにくい	0



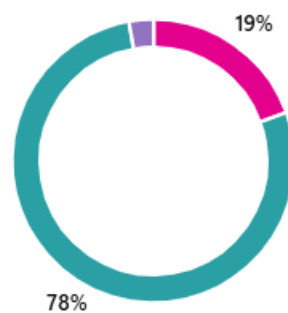
4. 参考になったか

● とても参考になった	9
● 参考になった	26
● あまり参考にならなかった	1
● 参考にならなかった	0



5. 時間の長さ

● 長い	0
● やや長い	7
● ちょうどよい	28
● やや短い	1
● 短い	0



6. ご意見などありましたらご記入ください。

10

応答

最新の回答

...

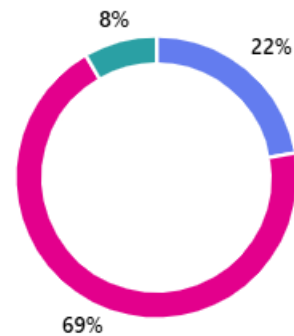
2回答者 (20%) この質問に 事業者回答しました。

初めての参加 設立7年目 機械トラブル 機会 補助金 タイミング
テーマ 動き 指摘 事業者 施設数
ファシリテーター 話し合い 現場 理解度 サービス内容
関係者 武蔵野市 グループワークを始める

【看多機が抱える課題等について】

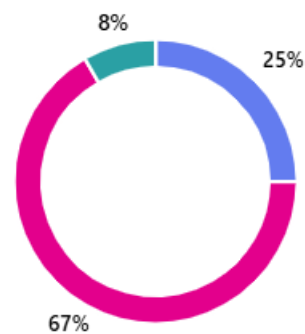
7. 分かりやすさ

● とても分かりやすい	8
● 分かりやすい	25
● やや分かりにくい	3
● 分かりにくい	0



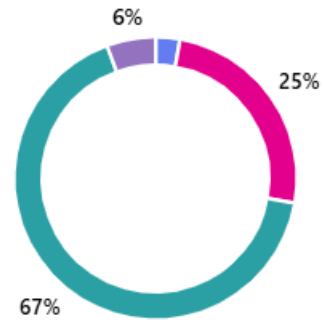
8. 参考になったか

● とても参考になった	9
● 参考になった	24
● あまり参考にならなかった	3
● 参考にならなかった	0



9. 時間の長さ

● 長い	1
● やや長い	9
● ちょうどよい	24
● やや短い	2
● 短い	0



10. ご意見などありましたらご記入ください。

5
応答

最新の回答
...

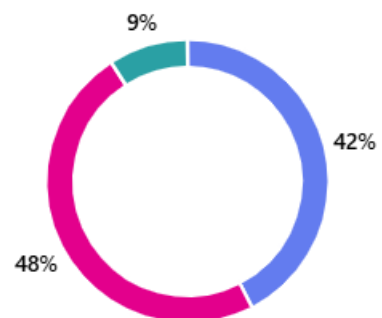
2回答者 (40%) この質問に 課題回答しました。



【グループワーク】

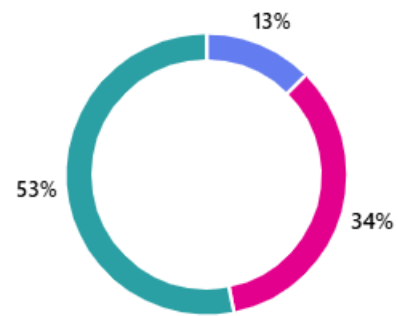
11. 参考になったか

● とても参考になった	14
● 参考になった	16
● あまり参考にならなかった	3
● 参考にならなかった	0



12. 時間の長さ

● 長い	4
● やや長い	11
● ちょうどよい	17
● やや短い	0
● 短い	0



13. ご意見などありましたらご記入ください。

11
応答

最新の回答
...

5回答者 (45%) この質問に グループ回答しました。

取り組み 介護職員 パソコン 課題 地域 姿勢
内容 状況 話 グループ 事業所 まとめ
音声 テーマ 現状 不具合 解決 設定された時間
映像 現状 同じ悩み

多機に係る令和7年度の補助事業等の

14. 今後、連絡会で話を聞きたい事業所や取り上げてほしいテーマなどあればご記入ください。

12
応答

最新の回答
...



15. その他ご意見等ございましたら、ご記入ください。

5
応答

最新の回答
...



2 各プログラムについて

(1) 東京都における看多機に係る令和7年度の補助事業等の説明

- ・ご意見欄に記載があったもの

職種	内容
事業所	加算の事などを聞きたかった。
	話し合いのテーマが決められていたので、話やすかった面もありますが、他にもいろいろお聞きしたかったです。
	補助金については、具体的な内容があって参考になりました。
区市町村	事業者の方のご指摘のとおり、そもそもの施設数が少ないことから、看多機の具体的なサービス内容について（現場の動きなど）理解度は低めなように感じております。
	借地賃料補助等、東京都で支援を拡充されていることが、区の事業者誘致での励みになると感じました。
	区の担当者のみが参加者でないのも難しいと思うのですが、補助事業について、区を通じた間接補助なのか都の直接補助なのかを明示していただけると、区担当者としてはさらに良かったかと思いました。

(2) 看多機が抱える課題等について

- ・ご意見欄に記載があったもの

職種	内容
事業所	平成30年の資料が基になっているので、現状と乖離している気がする。
	都のご指導や先輩の皆様方に今後ともお世話になります。
区市町村	事業者側、行政側のそれぞれが抱える課題が見えました。地区によってニーズも違いますが、大枠は看多機の仕組みが適切に機能するかであると感じました。事業者側の実情を踏まえ、行政の協力を進めていきたいと思います。

(3) グループワーク

- ・ご意見欄に記載があったもの

職種	内容
事業所	設置法人や規模などにより抱えている問題や課題が異なるため、グループ編成を同等の事業所にして頂けると良い
	グループワークを始めるタイミングにアナウンスが欲しかった。
	ファシリテーターがいるのだから、グループワークを始める時にこのグループは、何皆さん同じ悩みがあるようで励みになった。
	事業所の形態が違うこともあり、現状できていないことを共有する事に終始話がそれ
	テーマがもっと事前に解ると助かりました。またテーマ外の話も少し実施してみたかった気がします。
	こちらの不具合ではありますがパソコンの映像が出ない上で音声のみの研修となりました。
	設定された時間を見た時は長いなと思いましたが、実際に話してみるとテーマから派生する話題等、日ごろは誰にも相談できないことも話せましたし、皆さんの現状を教えていただけて参考になりました。せっかく沢山の事業所が参加されており、グループワークのグループ替えをして二つのテーマについて話せたら、より有意義かなとも思いました。グループワークの内容については、②と③は分けなくても話せるように思いました。
	グループワークにていろいろな地域の看多機の状況が聞け、また課題点や取り組みについて共有できたので大変有意義でした。
	他事業所の状況を伺えて良かったです。
	介護職員の姿勢ややる気やレベルの違いを感じた。看多機は個々に考えてサービス提供できる思考や技術が必要となるサービスだと思うが、志のあるスタッフの確保が課題であるとあらためて感じた。
	長すぎではありましたが、互いの事業所の話しを色々できて良かったです。
区市町村	各グループのまとめが画面共有できると分かりやすかったと思います。

3 今後の連絡会で取り上げてほしいテーマ等

職種	内容
事業所	看多機の訪問看護について
	介護職員新採用者の育成プログラム、BCPや感染症対策など
	黒字化している看多機の営業手法を知りたいです。
	看多機の医療特化型ではない場所の話
	加算の取得に向けて工夫している事やこの要件でクリアしている等
	最新の看多機の現状について調査をして欲しいです。単独型、併設型、連携型の割合など知りたいと思いました。
	地域ごとの行政機関との取り組みや、地域交流に関しての特色など
	今回の管理者間の交流良かったです。年に1回ほど交流したいです。
	新任者の研修体制、情報共有の方法
区市町村	看多機の業務内容
	困難事例への対応と職員の負担
	個別の感想ですが、グループワーク等で改善点や行政の要望等をまとめた後に、全体で意見交換や討議を行ってもよいかと感じました。
	どの区市町村でも新規整備があまり進んでいないと思いますので、運営の課題に加えて、新規整備を行わない理由や課題（土地の確保ができない、建築費が高騰している、ニーズが見込めないのので参入しない等）についても掘り下げていただけたら嬉しいです。

4 その他

職種	内容
事業所	カンタキの事業所が近隣でなく、どのように運営しておられるのか気になっておりました。
	今回の連絡会のようにカンタキで集まり、課題について意見交換する機会があるととても参考になり勉強になります。今後も参加したいと思います。
	地域ごと、また地域の枠を超えて、このような交流の機会が増えるとても良いかと思います。ぜひまた、もう少し小規模なものでも、機会が持てたらと思います、よろしくお願いします。
区市町村	看多機のみで黒字経営は難しいと感じております。グループホームで看多機のマイナスをカバーしている状況です。
	施設整備の担当部署のため現場の方とやりとりする機会もほとんどなく、看多機そのものへの理解が不足していることを感じ、事業者の皆さまもそこを一番の課題だととらえていることがよくわかりました。大変参考になりました。ありがとうございました。

新任の方は是非
ご参加ください!!



自信

いつもと何か違う様子…

いつ、誰に、どのように報告をする…?



を持ってアセスメントしよう!

在宅療養訪問看護 シミュレーション研修

研修内容

- ・訪問看護でよくあるケースの状態やバイタルサインをモデル人形※で再現し、フィジカルアセスメントと報告について学びます。
※症状に応じた呼吸音や心音の聴取が可能なコンピュータ制御の高性能シミュレータ
- ・オンデマンド教材を使って、訪問看護で活用できるフィジカルアセスメントを学ぶことができます。
※東京都事業のため、研修前後のアンケートでご意見感想をお寄せください

対象者

東京都内の訪問看護師（訪問看護経験3年未満）

研修時間

4時間程度（休憩時間は含みません）

開催時期

2025年5月～2026年3月（2025年度で終了です）

場所

東京都内（23区内・多摩地区、数か所）

※日程毎に開催日時・場所が異なります

参加費：無料
定員：15人
※各回先着順

■ 問い合わせ先

東京都立大学荒川キャンパス

東京都「いきいき・あんしん在宅療養サポート訪問看護人材育成支援事業」

代表者：織井 優貴子 担当者：竹森 志穂、金 壽子、後藤 あゆみ、上原 星奈

住所：〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10 東京都立大学荒川キャンパス図書館棟117

Tel/Fax：03-3819-1449（直通） E-mail: ansin-zaitaku@tyosup.com

詳細、お申し込みは
下記 QR から



ホームページよりご確認ください
<https://ikiikianshin.com>